

(1)「確かな学力」の育成に向けて

各種指標結果（2回目）	
<p>学校評価アンケートの前期と後期の集計結果を比較すると、「授業を通して学習の基本的な知識が身についてきた」について良好な回答をした生徒の割合は、ほぼ横ばい(90.7%)であった。しかし、「家庭学習の習慣が身についてきた」は9.6%増の77.8%、「文章に書くなど表現する力が身についてきた」は7.1%増の84.3%、「意欲的に学習する姿勢が身についてきた」は6.8%増の85.9%と、学習に関する質問についての回答傾向はおおむね上昇している。このことから、生徒たちの学習活動に対する達成感、満足感はおおむね上昇していると思われる。また、学習確認プログラムの結果についてみると、1・3年の全教科と2年生の国・社が、年度初めより「がんばりグラフ」の指数が上昇している。</p>	
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <p>ねらいの提示や振り返りを大切にする授業改善を徹底したこと、朝読書及び、週末課題・放課後学習会の取組を粘り強く継続してきたことが、上記のような結果として表れてきていると考えている。本校生徒の弱みである「読書時間が少ない」「携帯の利用時間が長い」については、若干改善傾向がみられるものの、まだまだ満足できる水準にはない。</p>
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>折しも新学習指導要領が告示され、来年度より試行期間に入ることから、これまでの取組を粘り強く継続するとともに、新学習指導要領が求めるこれからの社会に生きる子どもたちに必要となる資質・能力を育むために、各教員がどのように授業改善を進めていけばよいのか、研修を深めていく必要がある。</p> <p>また、本校生徒の弱みである、子どもたちに読書習慣を定着させるためには、図書館を活用した授業の在り方について検討し、各教科の授業の中に図書館利用を積極的に取り入れる必要を感じている。</p>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>落ち着いた雰囲気の中で学習できてきていると思う。それに伴って保護者の要求も個別化、多様化している。チーム学校ととらえて、いろいろな立場の方々を活用して欲しい。未来スタディ・サポートによる放課後学習会、学校支援ボランティア（元PTA会長の地域の方）による図書室の整備など、来年度も引き続き行い、さらに充実させて欲しい。継続して取り組むことで、さらに伸ばして欲しい。また多様化した生徒に対応できるように、教職員にさらなる研鑽を望む。</p>
	<p>評価日 2月20日</p> <p>評価者 学校運営委員理事</p>

(2)「豊かな心」の育成に向けて

各種指標結果（2回目）				
<p>学校評価アンケートの前期と後期の集計結果を比較すると、「道徳や学級活動，行事などを通して心の成長がみられた」という質問に対し，4.3%増の84.9%の生徒が良好な回答をしている。また，「学校内の様々な集団で人権を大切に作る雰囲気が深まってきた」という質問に対しても，1.6%増の89.0%の生徒が良好な回答をしている。</p>				
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <p>今年度，道徳の時間については，全クラスが休日参観で保護者にも授業公開し，また，後期研究授業週間では抽出クラスで研究授業を行った。また，読み物教材を中心とした教科書を使った「特別の教科 道徳」の実施に備え，読み物教材の利用を促進するよう研修を深めた。評価についても来年度より試行できるよう，道徳推進教師，道徳主任を中心に研究を深めた。何よりも教職員全体で本校生徒の豊かな心の育成に向け，道徳の時間に力を入れていくよう意識の高まりがみられたことが，指標に示すよう生徒たちの意識の高まりに繋がっていったものと思われる。</p>			
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>今年度の取組を踏まえ，来年度はさらに道徳の時間の取組充実に向けて力を入れていきたい。また，今年度後半より，小中の道徳系の会議を行うようになったが，まだまだ活発に行えているとは言えず，来年度は評価を含め，道徳に関する小中連携を一層進めていきたいと考えている。</p>			
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>最近の中学生に対する印象は、良くなってきている。あいさつもできている。地域の行事の「お餅つき大会」でも中学生が活躍している。しかし、中学生の参加は少ない現状にある。地域としても工夫して、増やしていきたいと考えている。地域の中学生が将来、消防団や体育振興会の活動を支える人に育って欲しいという願いがある。そのためにも地域行事に参加する中学生が、増えるように部活動の日程を調整することや広報活動など、学校としても対応して欲しい。</p>			
	<table border="1"> <tr> <td>評価日</td> <td>2月20日</td> <td>評価者</td> <td>学校運営委員理事</td> </tr> </table>	評価日	2月20日	評価者
評価日	2月20日	評価者	学校運営委員理事	

(3)「健やかな体」の育成に向けて

各種指標結果（2回目）				
<p>生徒対象の学校評価アンケートの結果から、「健康なからだづくりのため規則正しい生活習慣を心がけるようになってきた」「学校生活の中で運動に親しみ体力が向上した」の質問項目について、前期と比べやや優位な回答が減少している。特に3年生は部活動が終了した関係と思われるが、上記2項目についての優位な回答が大きく減少した。</p>				
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <p>「部活動ガイドライン」が出されたこともあり、生徒たちの心身の調和のとれた発達と規範意識の醸成という部活動本来のねらいや、部活動の在り方について考え、話し合う時間を多く持つ事ができた。保健体育科の授業や運動系部活動の練習等で、生徒たちが運動に親しみ、生き生きと活動している姿が多くみられた。しかし、「防煙教室」「薬物乱用防止教室」「性教育講座」などを予定通り行うことはできたが、道徳や特活、家庭科などの教科の授業ともリンクさせながら、生徒たちに計画的、系統的に食教育や安全教育の充実を図り、自らの健康のために望ましい食習慣や生活習慣の在り方を考えさせる機会があまり持てなかった。</p>			
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>道徳、特活、総合の時間の在り方を整理し、年間を通して計画的、系統的に生徒たちが自らの健康のために望ましい食習慣や生活習慣の在り方を考え、実践しようとする態度を育成するカリキュラム作成を検討する必要がある。</p>			
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>文化部も運動部も含めて、部活動全体として活躍していると感じている。もともと運動部の活躍が地域にも届いていたが、今年は音楽部が全国大会に出場したことなど文化部も頑張っていることが、伝わってきている。そのような生徒の活躍が、生徒達の仲間作りを高めたり、何事にも意欲的に努力することと大いに結びついていると感じている。</p>			
	<table border="1"> <tr> <td>評価日</td> <td>2月20日</td> <td>評価者</td> <td>学校運営委員理事</td> </tr> </table>	評価日	2月20日	評価者
評価日	2月20日	評価者	学校運営委員理事	

(4) 学校独自の取組

各種指標結果（2回目） 小中合同夏季研修会での協議を受け、今年度下半期より、「道徳」「英語(英語活動)」を小中一貫教育の重点的な協議内容とし、小中それぞれの担当、係が授業交流や係会を持つようになった。			
自己評価	分析（成果と課題） 「道徳」や「英語(英語活動)」については新学習指導要領の施行を控え、小中の授業交流、係同士の連絡会などを通して交流・情報交換が活発に行えた。しかし、担当、係の活動が具体的取組に反映されていくところまでなく、また、担当、係の活動について全教職員が共有する機会がもてていない。		
	分析を踏まえた取組の改善 来年度より小学校英語活動や教科としての道徳の施行が始まり、また、中学校ブロックとして「しなやかな道徳」の研究指定を受けるため、小中で道徳の重点内容項目を共有するなど、具体的な取組を進めていきたい。		
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 地域の行事である「お餅つき大会」で、同じ地域の小学生と中学生と一緒に参加し、中学生がついたお餅を小学生が食べる。こんな場面の中を、地域の方々がほほえましく眺めている。地域の子どもを地域で育てていると感じられる。今後のそんな場面が多く見られるようにしていきたい。		
評価日	2月20日	評価者	学校運営委員理事